

# 平成 27 年度 ビジットおきなわ計画

—世界水準の観光リゾート地の形成に向けて—



沖縄県文化観光スポーツ部

# ビジットおきなわ計画とは

「ビジットおきなわ計画」は、長期計画である「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」、「沖縄県観光振興基本計画」及び中長期の取組みを示した「沖縄観光推進ロードマップ」を踏まえ、単年度ごとの数値目標とその達成に向けた主な施策展開を盛り込んだ具体的な行動計画です。

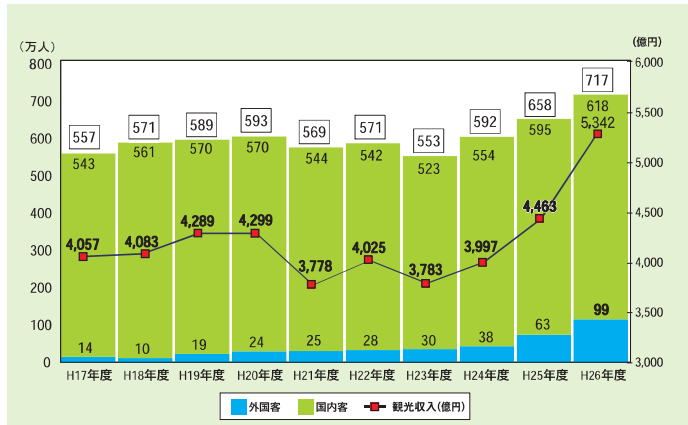
## 沖縄観光の現況

### 1 入域観光客数・観光収入の推移

平成 26 年度の観光客数は、過去最高の 717 万人となった。

平成 26 年度の観光収入についても、過去最高の 5,342 億円となった。

注) 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

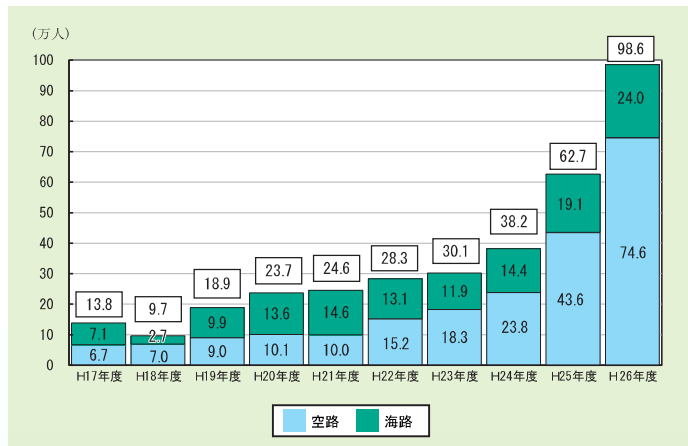


### 2 外国人観光客数の推移

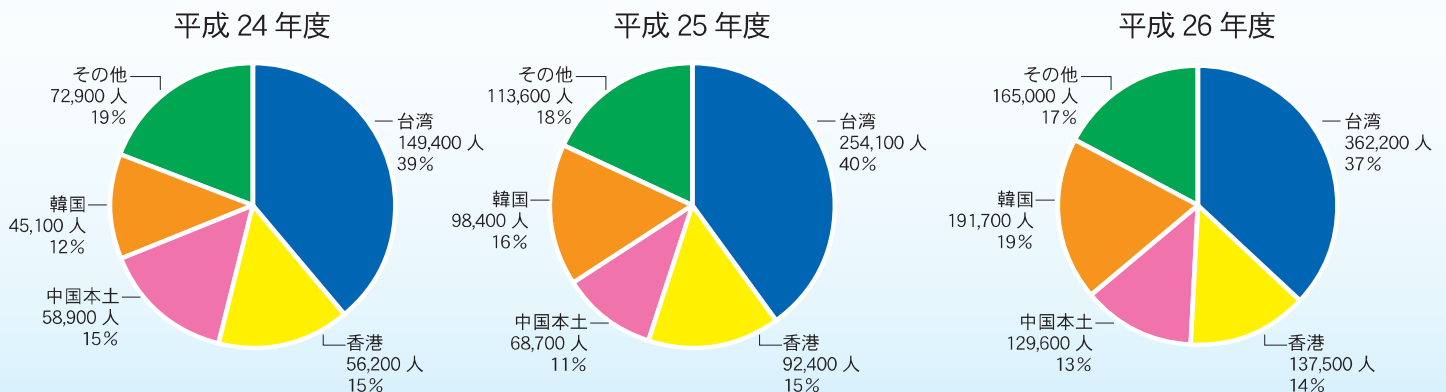
平成 26 年度の外国人観光客数は、過去最高の 99 万人となった。

空路客 75 万人、海路客 24 万人でともに過去最高となった。

注) 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

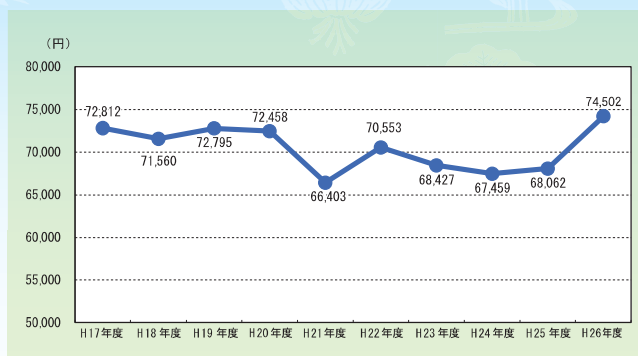


### 3 外国人観光客の国籍別構成比



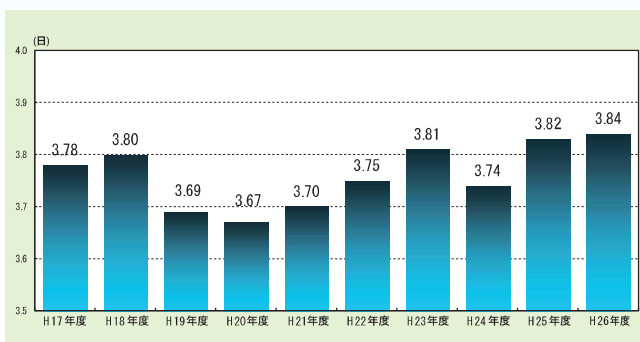
#### 4 観光客一人当たりの消費額の推移

平成 26 年度の観光客一人当たりの消費額は、対前年度比約 9.5% 増の 74,502 円となった。



#### 5 平均滞在日数の推移

平成 26 年度の平均滞在日数は、前年度と比べ 0.02 日増の 3.84 日となった。



### 平成 27 年度の数値目標と戦略概要

#### ■数値目標

項目	平成27年度 目標値	対前年度比	平成26年度 実績
観光収入	6,004 億円	( 12.4% )	5,342 億円
(うち外国人観光客)	1,140 億円	( 34.0% )	851 億円
観光客一人当たりの県内消費額	79,000 円	( 6.0% )	74,502 円
(うち外国人観光客)	95,000 円	( 10.0% )	86,348 円
平均滞在日数	3.95 日	( 0.11日 )	3.84 日
(うち空路外国人観光客)	5.50 日	( 0.78日 )	4.72 日
人泊数	2,242 万人泊	( 10.2% )	2,034 万人泊
(うち空路外国人観光客)	405 万人泊	( 46.2% )	277 万人泊
入域観光客数	760 万人	( 6.0% )	717 万人
(うち外国人観光客)	120 万人	( 21.2% )	99 万人

## ■戦略概要

### 平成 27 年度数値目標の達成にむけた戦略の概要

沖縄観光は平成 24 年度から回復基調に転じ、平成 26 年度の入域観光客数は、過去最高となった。

平成 27 年度は、国内客については景況感が上向きであることに加え、円安が継続すると予想されていることから旅行市場は活況となり、また、外国客については、新規航空路線の拡充、クルーズ船寄港回数の増加等により、引き続き増加すると見込まれている。

このような状況を踏まえ、平成 27 年度については、国内客の安定的な確保及び海外市場に向けた積極的な誘客活動を展開するとともに、人材育成や観光客受入体制の充実・強化を図る。併せて、観光地としての魅力向上のため、沖縄観光ブランド力の強化や離島観光の振興等について取り組む。

これらの取り組みを推進するため、国、市町村、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、地域の観光協会等との連携を図り、推進体制の充実強化を図っていく。

また、昨年度策定した「沖縄観光推進ロードマップ」に基づき、平成 33 年度の観光収入 1 兆円、入域観光客数 1,000 万人等の目標達成に向けた各種施策について、関係機関と緊密に連携し着実に取り組む。

## 平成 27 年度の主な施策展開

### 【戦略 1】国内外における戦略的な誘客活動の展開

#### 《 1. 海外市場への積極的な展開 》

沖縄観光ブランド戦略並びにプロモーション戦略に基づき、重点市場(台湾、韓国、中国、香港)及び訪日旅行が急速に拡大している戦略開拓市場(タイ、シンガポール、マレーシア等)、欧米豪を中心とする新規市場を対象に、次の取り組みを実施する。

### グローバル観光ブランド「Be.Okinawa」による海外展開の推進

国際観光ブランドとしての定着を図るため、「Be.Okinawa」をキーコピーに沖縄観光ブランド戦略を推進中。あわせて、エリア毎のプロモーション戦略について、民間事業者との共有化を図りつつ、官民一体となった誘客を推進していく。(http://beokinawa.jp/)



【海外市場】行政による沖縄観光ブランド戦略の推進と民間事業者とのプロモーション戦略の共有化(イメージ図)

ブランド戦略=価値の創造  
(行政)

- ・「Be.Okinawa」コンセプトに基づくPV、ウェブ、販促ツールなどの作成
- ・ブランドイメージ広告の露出
- ・旅行博等でのブランドイメージ露出、など

プロモーション戦略=需要の創出  
(官民)

- ・エリア毎の戦略をもとにターゲットとポジショニングを明確化
- ・旅行博への出展、商談会への参加、招聘事業を活用した営業展開
- ・助成事業等を活用した営業訪問の推進、など

## 〔1-1 海外の観光業界における認知度向上〕

- (1) 旅行業界を対象とした旅行博への出展、セミナーの開催に取り組むほか、海外旅行会社のキーパーソンの招へいや県内事業者の海外商談支援、航空会社・旅行事業者とのタイアッププロモーション、旅行商品販売担当者の沖縄観光への理解促進等に取り組む。
- (2) LCC を含む複数の航空会社が参入する重点市場においては、沖縄観光のリブランディング等によりリピーターの獲得を図る。
- (3) (公財) 沖縄県産業振興公社や(一財) 沖縄観光コンベンションビューローの海外事務所、海外委託駐在員を活用し、日常的なセールス活動や、県内事業者と連携した取り組み等を推進する。

## 〔1-2 海外の一般消費者における認知度向上〕

- (1) 沖縄ロケ映画・ドラマの誘致や海外メディアとの連携及びロケ作品を活用した観光プロモーション等に取り組むほか、重点市場を中心に、一般向け旅行博や市場特性を踏まえたイベントの出展、海外メディアの招へい等を実施する。
- (2) 「Be.Okinawa」ウェブサイトにおいてグローバル観光ブランドとしての沖縄の認知度向上を図るとともに、観光情報ウェブサイト(おきなわ物語)やSNS等において市場特性を踏まえたきめ細かな情報発信を促進するほか、沖縄の魅力を紹介する多様なコンテンツの拡充を図る。

## 〔1-3 戦略開拓市場における取り組みの強化〕

- (1) 今年度新たに設置したシンガポール事務所の機能を活用し、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア等の東南アジア市場における沖縄の認知度の向上、旅行商品の販売促進、チャーター便の誘致等の取り組みを強化する。

## 《2. 国内観光客の安定的な確保》

- (1) 国内市場においては、「やっぱりいいねおきなわ」をキャッチフレーズとする年間を通じたプロモーションに加え、「旬香周島(しゅんかしゅうとう)おきなわ」を掲げた季節ごとにターゲットを明確にしたきめ細かなプロモーションを、県内の各地域観光協会等関係機関と連携し実施するほか、新規リピーター需要の創出や若年層をはじめとする沖縄旅行未経験者の開拓等を図る。
- (2) 修学旅行の安定的な確保・拡大等を図るため、沖縄県修学旅行推進協議会を開催し受入体制の充実に努めるとともに、学校に対する事前・事後の学習の支援や継続実施学校への新たなメニュー等の提案や提供を実施する。

## 《3. 航空路線等の拡充・強化》

- (1) 国内航空路線の拡充を図るため、航空会社に路線開設や増便等を働きかけるとともに連携キャンペーンを展開するほか、発地側自治体との連携や乗り継ぎによる外国人観光客の誘致にも取り組む。
- (2) 海外航空路線の拡充を図るため、航空会社に路線開設や増便、チャーター便誘致等を働きかけるとともに連携キャンペーンを展開するほか、運航経費や旅行商品の造成等を支援する。
- (3) クルーズ船の寄港拡大やオーバーナイトを推進するとともに、フライ&クルーズを含むターンアラウンド港(乗客乗せ替え港)としての利用検討を促進するため、クルーズ船運航会社へのセールス活動を行うほか、キーパーソンの招へいや入港経費の支援等を実施する。

## 【戦略2】 離島観光の推進

- (1) 国内外からの離島航空路線の拡充を図るため、航空会社や関係機関への働きかけを強化するとともに共同キャンペーンを展開するほか、乗り継ぎ便やチャーター便を活用した旅行商品の造成等を支援する。
- (2) 離島独自のプロモーション活動と全県的な展開との連動性を高めるとともに、観光情報ウェブサイト(リトハク)における旅行市場を踏まえたきめ細かな情報の発信を行う。また、旅行会社やメディア等の招へいを伴う離島旅行商品の造成を促進するほか、離島観光コンテンツフェアを開催し、離島観光の魅力発信、旅行商品造成に向けた商談会を実施する。
- (3) 離島の魅力を投稿できる参加型専用サイトによる情報収集・発信とこれらの情報等の活用による観光メニュー造成を推進するとともに、観光情報ウェブサイト(おきなわ物語)における離島情報の拡充に取り組む。

## 【戦略3】 沖縄観光ブランド力の強化

### 《1. 新たな成長分野への支援》

- (1) 文化・芸能等を活用した新たな観光コンテンツを創出するとともに、会場までの交通アクセスや情報発信等の課題解消に取り組み、観光資源化を促進する。
- (2) スポーツを活用したスポーツツーリズムを推進するため、スポーツイベントに係るモデル事業に対して支援を行う。また、平成26年度に策定した「沖縄県スポーツコンベンション誘致戦略」に基づき、「スポーツコミッション沖縄」が中心となり、スポーツコンベンションの誘致に計画的・効果的に取り組んでいく。
- (3) 沖縄観光閑散期対策として、沖縄の自然、文化、スポーツ等の特有の観光資源を生かした沖縄オリジナルの感動体験を演出する沖縄感動体験プログラムの実証を行う。
- (4) 安全・安心・快適なダイビング環境を提供するため、ダイビング事業者向けに、国内・外国人観光客に対するサービスレベル向上を目的としたワークショップ等を実施し受入体制整備を進めるとともに、県内のダイビング総合情報をWebサイトにて世界に発信し、リゾートダイビングアイランド沖縄としての認知度の向上を図る。
- (5) 自然環境等の保全に配慮し、環境と共生した持続可能な環境共生型観光を推進するため、市町村が行う環境配慮施設の整備に対し支援するほか、エコツーリズムに関する情報発信、エコツーリズム推進体制の強化等を行う。
- (6) 沖縄に適合した健康保養型のツーリズムを確立するために、推進団体や事業者等と連携して受入体制の構築・高度化を図るとともに、県外・海外へのプロモーションを推進する。
- (7) 海外からの教育旅行の誘致を目的に、海外の教育旅行市場の実態やニーズを調査するとともに、関係者を招聘してモニターツアーを実施する。

### 《2. 特徴ある資源を活用した付加価値の高い旅行メニューの推進》

- (1) MICEによる誘致を拡大するため、大型MICE施設の整備を推進するほか、国内外のMICE関係見本市や商談会への参加、MICEプロジェクト、MICEセミナーの開催により、旅行業界等における認知度を向上させるとともに、キーパーソンの招へいによる県内事業者の商談機会の創出、事業者の海外セールス活動の促進等を図る。
- (2) 沖縄リゾートウエディングを拡大するため、関連業界と連携し、海外市場を含む積極的な開拓を進めるとともに、県内観光事業者との更なる連携強化を推進する。
- (3) 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信するとともに、国際大会や空手国際セミナーの開催等に向けて受入体制の強化を図ることにより、世界中の空手愛好家の来訪を促進する。併せて、沖縄空手会館の整備を推進する。
- (4) 特色ある沖縄の歴史・文化・芸術等の魅力を発信するため、県立博物館・美術館における展示内容の充実やユニバーサルデザイン化を図るとともに、観光業界や地域との連携を強化する。
- (5) 観光土産品に対する消費額の増加及び満足度の向上を図るため、観光客ニーズ等を把握し、その結果に基づいた魅力ある観光土産品の開発・作製に係る手法の構築及び周知を行なう。

## 【戦略4】 観光人材の育成

### 《1. 観光関連企業が行う人材育成への支援》

- (1) 県内の観光関連企業の対応能力向上を図るため、人材育成を行う事業者の課題に応じ、コミュニケーション、マーケティング等の専門知識を有した講師を派遣し研修を実施する。
- (2) 業種別の高度集合型研修を開催し、中核人材の育成に取り組む。

### 《2. 外国人観光客に対応した語学研修等支援》

- (1) 外国人観光客への対応能力向上を図るため、語学力、異文化理解等の講師を企業等へ派遣し研修を実施するとともに、県内観光関連企業等の外国人大学生のインターンシップ受入について聞き取りを行い、課題調査及びマッチング支援を実施する。

- (2) 地域限定通訳案内士試験の実施に加え、県が実施する研修を修了することにより外国語で観光案内することができる沖縄特例通訳案内士を育成する。

### 《3. 観光人材育成センターの活用・支援》

- (1) 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深め、魅力ある職業としての認識を促していくため、小学校に観光学習本を配布するとともに、講師を派遣し観光教育の出前講座を実施する。

## 【戦略5】観光客受入体制の充実・強化

### 《1. 安全・安心・快適な観光地の形成》

- (1) 県民一体となった受入体制を構築するため、県、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、観光関連団体等で構成する「めんそーれ沖縄県民運動推進協議会」を中心にクリーンアップキャンペーンや「かりゆしウェア」の普及促進等ホスピタリティの向上を図り、沖縄らしさの演出に努める。
- (2) 観光立県として官民一体となった受入体制の強化を図り、より質の高い観光地を目指すため、8月の「観光月間」における観光推進運動の展開を全県的に強化するとともに、「めんそーれ沖縄」県民宣言の普及促進に努め、年間を通して県民の沖縄観光に対する意識の高揚と当該運動への積極的な参加を促す。
- (3) 高齢者、障害者等の観光客が沖縄を楽しめるような受入体制の整備を促進するため、バリアフリーに対する意識啓発セミナーを開催するとともに、バリアフリー化の整備を検討している観光関連事業者に対し、観光バリアフリーアドバイザーを派遣するとともに、県内外へのプロモーションを行う。
- (4) 台風来襲時など、空港に観光客が滞留した際には、宿泊施設の紹介や一時避難所の提供等の支援を実施する。
- (5) 沖縄県として観光危機管理をより効果的に実施するため、平成26年度に策定した「沖縄県観光危機管理基本計画」を踏まえ、行政・観光関連団体等と連携し、より具体的な役割・取組を定めた「沖縄県観光危機管理実行計画(仮称)」を策定し、県全域の有機的な観光危機管理体制の構築を目指す。
- (6) 旭橋都市再開発地区に沖縄観光情報を総合的に発信・入手できる多言語対応の観光案内の整備に取り組むとともに、二次交通の利便性向上に向けたバス業界等の調査を行なう。

### 《2. 外国人観光客の満足度向上》

- (1) 外国人観光客に対応するため、Wi-Fi機器や免税書類作成システムの導入を支援するほか、多言語観光案内板の設置や観光施設等の多言語表示を促進するとともに、多言語コンタクトセンターの設置による観光客への情報案内等を実施する。また、今後の増加が見込まれるムスリム層をはじめ、観光客の多様な文化や習慣等にも対応できる受入体制の整備を推進する。
- (2) インバウンド受入体制の強化を目的に、インバウンド連絡会を開催し、民間事業者等とインバウンド施策の共有や課題解決に向けた意見交換等を行うほか、県民意識の醸成を推進するため、「ウエルカムんちゅになろう」キャンペーン等を実施する。
- (3) 外国人観光客が急増している状況を踏まえ、民間ベースでの取り組みも含めた受入環境の実態と外国人観光客の県内旅行の動態等について調査することにより、インバウンド受入環境の整備を効果的かつ効率的に推進する。

### 《3. 着地型観光の推進》

- (1) 市町村や観光協会等の地域間連携を強化し、地域関係者のニーズや課題に対応したアドバイザーの派遣、専門家によるセミナー等を実施し、地域観光資源を活用した着地型観光メニューの充実を図る。
- (2) 国内外の観光誘客の増加につながる沖縄が持つ様々な観光資源を活用した沖縄独自の観光商品(高付加価値型観光)について、民間企業等の自主的な取り組みを支援する。

## 《 4. 観光関連施設の整備促進・体制強化》

- (1) 「観光地形成促進地域制度」の説明会等のPRを行い、当該制度の活用を促進することにより、国内外からの観光客に対応した観光関連施設の集積を図る。
- (2) 県内中小ホテル事業者に対し、経営改善のためのアドバイザー派遣や経営状況把握のための個別ヒアリングを実施し、その中で明らかになった課題に対する解決案についてシンポジウム等で情報発信することにより、ホテル業界への波及効果を高める。
- (3) さらなる観光産業の振興を図るため、観光関連事業所からの情報収集体制を強化するとともに、観光産業の現状と課題を把握し、施策立案に反映させる。

## 平成27年度の沖縄県観光関連予算

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	
	当初予算額	当初予算額	対前年度比
沖縄県全体の当初予算額	723,922,000	746,497,000	103.1%
観光関連予算(合計)	<b>8,585,978</b>	<b>8,951,639</b>	<b>104.3%</b>
①観光客の誘致促進を図るために必要な経費	6,722,739	6,449,039	95.9%
②観光客の受入体制の整備等に要する経費	825,732	1,393,416	168.7%
③環境共生型観光地づくり、観光統計・調査、計画策定、関係機関との連絡調整等に要する経費	422,362	461,999	109.4%
④その他	615,145	647,185	105.2%

※文化観光スポーツ部予算のうち、「観光費」に計上される額である。

## 平成27年度(2015)の主なイベント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
琉球海炎祭 2015	■											
第31回全日本トライアスロン宮古島大会	■											
ハーリー(那覇・北谷・糸満など県内各地)		■	■									
海洋博公園サマーフェスティバル 2015				■								
2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ				■								
夏祭り in 那覇 2015 一万人のエイサー踊り隊					■							
第60回沖縄全島エイサーまつり						■						
第51回青年ふるさとエイサー祭り						■						
第22回首里城公園「中秋の宴」						■						
世界エイサー大会 2015						■						
第45回那覇大綱挽まつり							■					
琉球の祭典 2015							■					
平成27年度首里城祭								■				
ツール・ド・おきなわ 2015								■				
世界空手道連盟プレミアリーグ									■			
第31回 NAHA マラソン										■		
第24回首里城公園「新春の宴」										■		
沖縄北部桜まつり(本部町、今帰仁村、名護市)										■		
プロ野球春期キャンプ、プロサッカーキャンプ											■	
第24回 2016 おきなわマラソン											■	
第29回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント												■
第8回沖縄国際映画祭												■



Japan. Endless Discovery.

編集・発行 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課  
TEL:098-866-2763 FAX:098-866-2767